

マルカン百貨店 運営引き継ぎ検討に関するお知らせ

2016年3月18日
株式会社花卷家守舎
代表取締役 小友康広

2016年3月6日に発表されたマルカン百貨店が同年6月7日で閉店するニュースは花巻市内外に対して大きな衝撃を与えたものでした。

私たち、花巻家守舎はリノベーションまちづくりという手法による「花巻駅半径200mのエリアにチャレンジする大人が集まるまちをつくる」という使命をもとに、2015年4月から活動しております。

上記ニュースは弊社にとっても非常に衝撃的であり、緊急で役員会及び株主総会を開催し「マルカン百貨店をリノベーションまちづくりの手法で運営することは出来ないか？」という検討に入りました。

そして、2016年3月7日、15日の2回に渡り株式会社マルカン 代表取締役社長 佐々木一氏との会談の結果「花巻家守舎がマルカン百貨店の運営引き継ぎ検討を行うことを了承し、協力する」というお言葉を頂くことが出来ました。

現時点で決定していることは以下の通りです。

- ・花巻家守舎が主体となり、2016年5月末までに「今後10年間営業を継続するために必要な全てコスト」を上回る「今後10年間にマルカン百貨店の全ての階で得られる利益」を得られるかを本格的な検討、算出を行う

つまり、現時点は「マルカン百貨店の経営権が花巻家守舎に移譲される」ということが決定されている訳ではありません。

2016年5月末に「花巻家守舎が主体となり、営業継続が出来そうです」という報告を皆様に来ることを実現すべく全力で邁進して参りますが、もしかすると「弊社でも営業継続は困難でした」と残念な報告をせざるを得ないことになるかもしれません。

なお、弊社が描いている現時点の新しいマルカン百貨店の全体像は以下の通りです。

(あくまでも想定であり、今後の調査などにより変更の可能性はあります)

- ・6階の食堂は原則そのままの雰囲気、メニューを踏襲する
- ・その他の階については「直営」ではなく「テナント型」とし、物販以外にも事務所、託児所、イベントスペースなど様々な業態の入居、更には区割りの再構築を行う
(つまり、百貨店という業態に拘らず事業展開を行う)
- ・営業継続に必要な各種費用・業務全般と入居店舗決定・建物全体の総合プロデュースを花巻家守舎が行い、必要な場合、新たな家守会社または運営事業体の設立を行う

- ・営業継続可能と判断した場合でも、6月7日に一度閉館し、耐震工事や各種設備・テナントの入れ替えを行う
- ・マルカン百貨店の従業員は引き継がない想定だが、今後面談などを重ねた末、双方合意の上、花巻家守舎や新テナントの従業員として引き継ぐ可能性もある

私たちは創業1年にも満たない若い企業であり、まだまだ力不足でございます。花巻の皆様、マルカン百貨店のファンの皆様、リノベーションまちづくりの諸先輩方のお力添えを頂き、10年後も採算が取れ、運営が出来る状態を維持出来る絵を描けるように進めてまいります。

具体的には直近の活動は以下の通りです。

- ①全国のリノベーションまちづくりのプロの協力を頂きながら、「耐震補強や各種設備が10年以上使用に耐えうるための修繕必要箇所の明確化」と「そのコストを最小化」
- ②6階の食堂以外にテナント出店を検討いただける事業オーナーの発掘、条件調整
- ③6階の食堂と②でどれだけの収益を得られるかのシミュレーション

「6階以外に出店したいと思っている」や「〇〇のような形で協力出来るのではないかな？」という方は、是非とも info@hanamakiyamori.com まで一度ご連絡頂けますと幸いです。

なお、報道機関向けに、下記日時にて記者会見を行います。

■日時： 2016年3月20日（日）18:00～

■場所： 花巻市生涯学園都市会館（まなび学園）AVルーム <https://goo.gl/maps/eTZjxgm8mDC2>

